

		学籍番号:	学生氏名:
演習目標: 超急性期にある急性心筋梗塞患者の観察を行い、症状安定に向けてニトロール注5mg入り生理食塩液100mlの側管点滴を正確に・安全に行うことができる			
演習過程	行動目標	実施内容	
1	デモンストレーション	デモンストレーションを観察し、事前学習と比較して、演習をイメージする	
2	学生カンファレンス	事前学習のアセスメントや行動目標に不足していた点、デモンストレーションに不足していた点などについて意見交換 演習者、患者、看護師(ダブルチェック・リーダー)、観察者(4人グループの場合)の役割のローテーションを決める	
3	指示受け	注射指示票にそって5Rを指示しながら声に出して確認する 1) 患者氏名 2) 日時 3) 薬品名(作用・副作用、それに伴う観察上の注意点を理解する) 4) 薬品の規格と用量 5) 方法(滴下速度の計算式と正しい滴下速度がわかる。ニトロール注入り生理食塩液とソルデム1両方の速度)	
4	感染予防のための正しい手指消毒ができる	速乾性手指消毒剤で手指消毒を正しく行う <input type="checkbox"/> ①ポンプを最後まで押し消毒剤を片方の手のひらに受ける <input type="checkbox"/> ②両手の指先に消毒剤をよくすりこむ <input type="checkbox"/> ③手の平にすり込む <input type="checkbox"/> ④手の甲にすり込む <input type="checkbox"/> ⑤指の間にすり込む <input type="checkbox"/> ⑥親指にすり込む <input type="checkbox"/> ⑦手首にすり込む <input type="checkbox"/> ⑧すべての消毒剤が乾くまで手にすり込む	
	正しく与薬をするための準備ができる	1) 必要物品を準備する(清潔と不潔を区別して準備する) <input type="checkbox"/> トレイ(清潔用) <input type="checkbox"/> 注射指示書 <input type="checkbox"/> ニトロール注5mg入り生理食塩液100ml <input type="checkbox"/> 輸液セット <input type="checkbox"/> アルコール綿2つ <input type="checkbox"/> 膿盆(不潔用) 2) 使用できる薬剤か確認をする <input type="checkbox"/> 薬液の混濁や浮遊物の有無と、破損の有無を確認する <input type="checkbox"/> 使用期限を確認する 3) 輸液セットの使用期限と破損の有無を確認する	
	誤薬防止のために他の看護師と指差し呼称で5Rを確認できる	1) もう一人の看護師(グループの学生)にダブルチェックの依頼をする 2) もう一人の看護師と指差し呼称をしながら点滴(5R)の確認をする <input type="checkbox"/> 患者氏名 <input type="checkbox"/> 日時 <input type="checkbox"/> 薬剤名 <input type="checkbox"/> 薬剤の用量 <input type="checkbox"/> 方法(滴下数も)	
	責任を持って実施したことを明記する	3) 注射指示書にダブルチェック者のサインをする 4) ★点滴ボトル(ニトロール注入り生理食塩液)に日時、患者氏名と実施者(準備者)の氏名を記入する	
	感染防止のために清潔操作で輸液を輸液セット内に正しく満たすことができる	5) ★点滴ボトルを点滴スタンドにかける 6) 輸液セットを包装から取り出し、破損の有無やクレンメの動きを確認する 7) 輸液セットのクレンメは滴下筒から約10cm下の部分に移動させ閉める 8) 点滴ボトルのゴム栓部分のキャップを開け、アルコール綿でゴム栓部分を拭く 9) 輸液セットの点滴ボトルに刺すびん針のキャップをはずし、清潔操作で点滴ボトルのゴム栓の丸い部分に垂直にびん針を刺し込む 10) 滴下筒を指でゆっくりつぶして離し、薬液を1/3~1/2ためる 11) 輸液セットの先端を片手で上向きに保持し、クレンメをゆっくり動かし、薬液を輸液セット内に空気が混入しないように満たす 12) 薬液が輸液セットのチューブの先端まで満たされたことを確認して、クレンメを閉める	
	安全のために再度確認できる	13) ベッドサイドに行く前に再度、注射指示書通りの薬剤かを指差し呼称で確認し、必要物品に不足はないかを確認する <input type="checkbox"/> 注射指示書 <input type="checkbox"/> 輸液セットを組んだ点滴ボトル <input type="checkbox"/> アルコール綿 <input type="checkbox"/> トレイ <input type="checkbox"/> 膿盆	
感染防止の行動がとれる	14) ★ベッドサイドに行く直前に速乾性手指消毒剤で手指を消毒する		
5	治療への参加を得るために使用される薬剤の説明とその効果の説明ができる。注意点も伝えることができる	1) 自分の氏名を名乗り、患者氏名を名乗ってもらいIDバンドと注射指示票を照合して確認する 2) ニトロール注点滴の目的の説明 3) 終了予定時間の説明 4) 注意事項の説明	
	点滴開始前の観察を行い、正確に安全に実施できる	5) 与薬開始前のバイタルサイン、全身状態の観察を行う ※演習では時間の制約上体温、血圧、SpO ₂ は測定しないが、SpO ₂ 、血圧、心電図はモニターの表示を確認し判断する	
	患者誤認防止のため確実に確認できる	6) 患者にフルネームで名乗ってもらい、IDバンド、注射指示書および点滴ボトルの氏名と照合する	
	ソルデム1が確実に実施されているかを確認できる	7) ★ソルデム1の滴下の有無と輸液ルート内への血液の逆流の有無を確認、ルートをたどり、ルートに異常がないか確認する	
	静脈留置針挿入部の異常の有無を確認できる	8) 点滴留置針挿入部の異常がないかを確認する	
	感染防止のために清潔操作で与薬の準備ができる	9) 点滴スタンドに点滴ボトルをかけ、再度薬剤が確実に輸液セット内に満たされているか確認する 10) アルコール綿で三方活栓のシュアプラグ部分を拭き、輸液セットの先端を確実に接続する	
	輸液速度を指示通りに調整し正確に投薬開始できる	11) ソルデム1とニトロール注入り生理食塩液が同時に滴下されるように三方活栓のoffを動かす 12) 滴下筒の滴下と時計の針が同時に見える位置に時計を持ち滴下数を調整する 13) ソルデム1の輸液速度を確認する。もしニトロール注の開始により速度が変化しているようであれば調整する	
	責任をもって実施したことを明記する	14) 注射指示内容と相違なく与薬開始できたことを確認の上、注射指示書に実施者のサインをする	
	薬剤(ニトロール注)与薬開始直後の変化を観察できる	15) ニトロール注開始直後に薬剤への副作用反応がないか観察する	
	苦痛の緩和、安心・安全の援助を行うことができる	16) 患者の不安に配慮した声かけをする 17) 患者の体位に配慮し必要であれば安楽な体位にする 18) ナースコールを手元に置き、注意事項などを説明してベッドサイドを離れる	
6	感染防止の行動がとれる	★リーダー看護師報告前に速乾性手指消毒剤で手指を消毒する	
	リーダー看護師への報告	患者の状態とニトロール注の側管からの点滴開始したことをリーダー看護師(グループの学生がリーダー看護師役となる)に報告する <input type="checkbox"/> ニトロール注と与薬開始前の患者のバイタルサインと全身状態を正しく報告する <input type="checkbox"/> 与薬開始した薬剤(ニトロール注)を正しく報告する(患者氏名、日時、薬品名、用量、投与方法) <input type="checkbox"/> 与薬開始直後の患者状態について正しく報告する <input type="checkbox"/> 今後の看護の方向性について伝えることができる	

★は手指消毒を実施するタイミング